

パネラーの皆様の活動概要

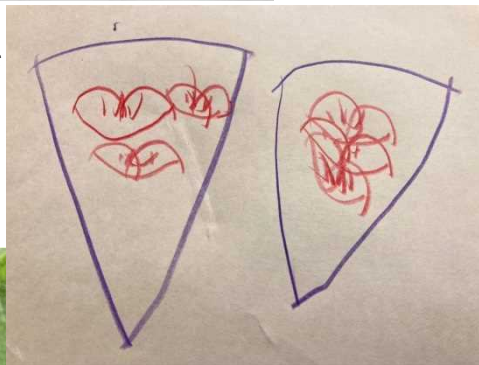
BUTTOBI BERRY ORGANIC 田渕 善昭



BUTTOBI BERRY ORGANICの理念は
人類の根源的な『幸せ』を支える営農を貫き
持続可能な農業
後世に負の遺産を残さない
永続的社会構築に
貢献できるよう努めて行く事です。



農場見学に来た
子供さんから
いちごサンドを描いて
くれました。



次世代の未来のために。。。
BLOF理論による有機栽培技術で
有機では難しいとされている
いちご栽培を実現しました。



国際基準にも通用する有機JAS認証を取得しています。
安易に安いものに手をのばすのではなく
エシカル消費で社会貢献にご協力いただければ幸いです。
次世代に美しい地球を！



2022年オーガニックエコフェスタ
栄養価コンテストいちご部門
最優秀賞受賞



徳島県有機農産物認証協会
22A-059
BUTTOBI BERRY ORGANIC

NARUMI FARM 阿部 なるみ

上勝レッド

NARUMI FARM



NARUMI FARMの1 YEAR

7月中旬～10月 トマト



6月～10月 にんにく

11月～12月 実生柚子、ゆこう、黄金すだち



12月～3月 大根、水菜、小松菜、さつまいなど



3月～5月 わらび、たけのこ、山菜など



3月～11月 薬草、ハーブ、豆、夏野菜など。

とくしまマルシェセット



食の地域内循環システム

地産地食 育てる、つくる、食べる、つなぐ

- 育てる
 - 農業の担い手を育てる（準備型による農業研修）
 - 種から育てる（有機JAS、特別栽培）
 - 種をつなぐ（在来種）
- つくる
 - 食文化の本『神山の味』を真ん中に地域の味をつなぐ
地域の味をつなぐ加工品の製造
- 食べる
 - 地域 みんなで地域の農産物を食べて農業を支える
かま屋、かまパンの運営
- つなぐ
 - 食農教育活動や学校給食を通して、地産地食の意識を
広げる活動を実施



生活協同組合 コープ自然派しこく



コウノトリがすむ
田んぼを広げよう！

コープ自然派のめざす社会

農林水産省が2021年に打ち出した「みどりの食料システム戦略」は2006年に制定された「有機農業推進法」に次ぐ、画期的な方針です。私たちコープ自然派でも「誰もが有機農産物を食べることができる社会」を掲げ、消費と生産の両面で取り組みを進めています。特に、生産については担い手づくりと環境負荷低減に向けた農業シフトの推進に力を入れています。

担い手づくり

★成果物を生協で販売★

1000人の有機農業者を
創出したい！

徳島県小松島市

- ・2009年NPO法人とくしま有機農業サポートセンターを小松島市に設立。
- ・BLOF理論(生態系調和型農業理論)で高品質・高栄養の農産物生産を目指す栽培技術指導体制を整備。
- ・地域農業者やJA東とくしま、企業、コープ自然派が協力し、小松島市エリアでの有機農業を推進。
- ・2021年までに148名の方が修了。
- ・稲作が盛んな小松島地域、地域の特徴を活かして、2021年度よりお米の学校へ転換。

熊本県山都町

即戦力の有機農業者を
創出したい！

- ・2021年「NPO法人ORGANIC SMILE」を熊本県山都町に設立。
- ・2022年「有機の学校ORGANIC SMILE」を開校。
- ・高品質・多収穫を実現するBLOF理論を基礎理論として年間108時間の座学と実習を行う。
- ・育苗から種取りまで一連の流れも学ぶことができる。



消費と生産をつなぐ

★生協の活動で消費者と生産者との接点づくり★

- ・農産物が生産される環境を大切にしたいという、組合員の想いを消費(購入)の形だけでなく、任意でのカンパ(環境支払いカンパ)を継続して実施。
- ・田んぼを身近に感じてもらい、親子での食育の場として「田んぼの生きもの調査」を毎年、田植えと稲刈りの時期に実施。
- ・国産小麦(有機)の確保と圃場の拡大をめざして、組合員と一緒に、北海道の生産者に会いに行く。定期的な交流も継続している。めざすは、有機の小麦1000トンの生産⇒消費の実現。



環境負荷低減に向けた農業シフト

★協同組合間協同★

生協(消費・流通)  JA(流通・生産)

コープ自然派はJA東とくしまと連携し、慣行農業から省農薬・無農薬・有機へとステップアップする取り組みを行っています。慣行農業で多用されている「ネオニコチノイド系農薬」をまずは不使用にしてもらい、次に除草剤・農薬の使用低減や廃止。最終的には地域まるごと無農薬・有機をめざして取り組みを進めています。

ステップアップ

ソルをよぶお米
(無農薬)
地域まるごと
無農薬！

ソルをよぶお米
(省農薬)
生きもの豊かな
田んぼへ

ビオトープ米
地域まるごと
ネオニコフリーへ



特定非営利活動法人 徳島県消費者協会

目的

さまざまな消費者問題について、消費者団体・行政機関等各関係機関と連携・相互交流を図りながら、各種調査・教育・研究・啓発活動等を行うことにより、消費者の生活の安定と知識の向上及び相互の連帯を強め、もって消費者の権利の確立を図ることを目的としている。

会員・組織

- ・団体正会員 26団体（所属会員約2,000人）
- ・団体賛助会員 47社・団体
- ・徳島県内の8市14町1村に団体正会員である消費者協会がある。

主な活動内容

受託事業

- 徳島県消費者情報センターにおける消費者相談業務
- 徳島県消費者大学校・大学院の運営
- 消費者まつりの運営
- 出前講座への講師の派遣

部会活動

- 情報教育部会
 - ・各地区協会の活動状況等を掲載した情報誌「くらしの情報」を年3回発行
- 調査研究部会
 - ・家庭における省エネルギー意識の向上を図るため、環境家計簿の記帳（エネルギー使用量調査）を実施
- グリーン購入部会
 - ・環境にやさしい商品の共同購入（グリーン購入）を推進

食品表示ウォッチャー調査

- ・食品表示ウォッチャーとして、食品表示のモニタリング調査を実施し食品表示の適正化など食の安全・安心の確保に取り組む。

地区協会による活動

- ・食品ロス削減キャンペーン
- ・振り込め詐欺防止キャンペーン
- ・各種アンケート調査の実施
- ・県下4地区における「消費者のつどい」での情報共有



「プラごみゼロ」とくしまスマート宣言

徳島県と、とくしま環境県民会議など、4団体で決意表明をし、「プラスチックごみ問題」に取り組む機運の醸成を図っている。

徳島SDG s プラットフォーム

徳島SDG s プラットフォームの団体会員として、SDG s の趣旨に賛同し、SDG s の達成に向けて取り組む。

食料安全保障シンポジウム

令和4年10月14日「食料安全保障シンポジウム」に参加。「徳島宣言」の実現に向け努力していく。